

令和3年度一般会計予算

75億1000万円 前年対比0.9%増

一般会計に6特別会計、水道事業会計、下水道会計を合わせた総予算額は【129億7967万円】
前年対比3.2%（4億320万円）増

町民の **声** が

議会を動かす

富士見町の令和3年度予算は、町長方針「住み続けたいまち、住んでみたいまちづくり」を目標に、住民生活や地域経済の未来を見据えた積極的な予算が組まれました。議会は皆さんの声を聴き、町へつなげています。

今年度初となる事業も多く出されました。その主な内容は次の通りです。

- まちづくり支援金の新設
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 攻めの誘客事業とそれに伴う町内周遊促進企画
- 里山整備事業（集落周辺の森林整備）
- 工業オンライン展示会事業
- Uターン者等雇用促進事業
- 学生Uターン新生活応援事業 など

議会は常に

「町民の声を

どのように活かすか

を考え行動しています。

詳しい予算内容は



「広報ふじみ4月号」をご覧ください

議員 の 声

議員は町民の声を どのように活かすのか



五味 平一 議員

ジェンダー平等 これでいいのか



▶ 富士見町議会議員は女性1名・議会出席行政幹部は2/14名
行政幹部2/14は理事者及び課長数を言います。さて、男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もっと男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。そして、世界経済フォーラムが2019年12月に発表された日本のジェンダー・ギャップ指数は0.652で153ヶ国中121位です。町の男女参画について町民全員が考えましょう。

牛山 基樹 議員

おたっしゃ生きがい 生活支援・地域支援事業



▶ 価値ある町独自事業。
地域における生活支援を手厚く

SDGs11番目の目標は「住み続けられるまちづくりを」です。高齢者が住み慣れた地域で生きいきと生活できるように、介護保険にないサービスや、介護認定外の方や家族介護者のリフレッシュ支援などでも利用できる富士見町独自の幅広い生活支援サービス事業。高齢者の自立した生活を支援するサポートは、将来に向けて大変意義があります。使いやすい弾力性のある財源も確保して、全ての方が地域に根づいた持続可能な生活が送れるように、厚く支援していきたいと考えます。

五味 仙一 議員

人口減少に 負けない町づくり



▶ 若い世代への税の負担が
益々増加していくことが心配

問 町税など生産世代が担当する部分で若い世代への負担増を心配するが、今後の状況は。

答 財務課長
令和3年度の予算編成においても税は明らかに減少することは客観的事実であり、財政担当者としては心が痛い所です、財政運営においては町税の減収、人口減少、少子高齢化社会に合わせて財政規模を税収と人口規模に合致させる財政構造を今から構築していくことが重要だと私は思っています。

名取 久仁春 議員

橋梁長寿命化 修繕計画について



▶ 橋梁の整備、維持の方針は？

平成26年から30年度にかけて、全管理橋梁181橋の定期点検を実施した。整備・維持の基本的方針は、点検による損傷の把握を行い予防的な修繕等を計画的に進め、費用の平準化に努めている。来年度の立沢大橋は設計費2700万円であるが、国の補助金等を最大限活用し、町財政の負担軽減に努める。来年度以降の修繕についても同様である。また、現在廃止を検討している橋梁についても最大限地元民の理解を得られるよう努力する。

小倉 裕子 議員

老人保護措置費と 生活支援ハウス



▶ 老人保護措置費と生活支援
ハウスについて役割の違いは

問 老人保護措置費と生活支援ハウスについて、それぞれの役割は？また利用者の状況は？

答 老人保護施設費は、生活が困難になった高齢者を保護する目的で使用されるもの。生活支援ハウスは、やはり高齢者に於いて、冬期一人で生活できない方、また緊急時の対応も含め、生活できる施設を運営するもの。定員は8名で、現在4名利用。

問 高齢者以外の方を対象とした要保護措置は。

答 状況に応じて、各相談窓口及び公的シェルター・民間シェルターを利用してもらうこともある。

織田 昭雄 議員

小学校の老朽化への 対応と校舎建て替え



▶ 一番古い富士見小は耐用
年数まで13年だが建て替えは

問 質問公共施設等マネージメントの取り組み2035年仮置きとしながらも3小学校を1校に統合がうたわれているが、築47年の富士見小の老朽化はあと15年も今のままで良いのか。

答 教育長
私も富士見小が本当に15年持つのかと思うが老朽化への対応は課長の答弁の様に学校現場としっかりヒヤリングを取り必要な修繕は計画的に対応する。私見だが富士見小の改築はいずれ必要だが改築イコール統廃合ではない、別に考えるのも一案だ。

島 正孝 議員

富士見に住み、 富士見の文化と 歴史に親しむ



▶ よく知りよく理解する。
そして郷土への愛が生まれる

我々は、知らない事には関心を持たない。富士見に住む子供達が、学校教育の中でどれくらい郷土の事について学ぶ機会を持っているだろうか、3月定例会の一般質問で脇坂教育長に質問した。その問い掛けに教育長は、「教育の根幹は先ず自分たちの住む郷土を知る事である」と明確にお答えくださった。ここで学ぶ子供達全員が、自分の住むこの郷土富士見を、尚一層、愛しい人と信頼しながら育てて行って欲しいと強く希った。

川合 弘人 議員

道路を見れば、その まちの行政が分かる



▶ 区内道路の補修がなかなか
進まない

傷んだ町道で軽自動車が破損し、町が損害賠償を行った、という事故がほぼ1カ月間に3件もありました。補修が必要とされる区内道路が何カ所もあるのに、資金不足から、なかなか手を付けられないという話も聞きます。面積の広い区は区内道路も長く、補修箇所は多くなります。でも戸数が少ないと事業費の確保が難しい現状です。周辺の自治体に比べ、富士見町の道は痛みが目につくという話も聞きます。道路行政は、予算的な面から大胆な見直しを行う必要があります。

名取 武一 議員

パノラマへの 町税投入について



▶ 来年度予算では町税を
パノラマ特別会計に5千万円繰入

私は3月議会では「観光貸付事業への繰入」、来年度「一般会計予算」、来年度「観光貸付事業特別会計予算」の3議案に反対しました。これは町の一般会計から町税をパノラマ特別会計に繰入れるというものです。「繰入」とは、町税をパノラマにつぎ込むことであり、返済する必要のないものです。数年前までは、町とパノラマとの関係は原則として貸し借りの関係が建前でしたが数年前から「繰入」に変わりました。皆さんはこのことをご理解されているのでしょうか。

三井 新成 議員

財源確保のできる 施策を目指して



▶ 企業向けふるさと納税を推進

現在のふるさと納税制度は、6市町村の中でも優秀な結果を残しており、トータル金額で2億円を超した納税収入となっています。富士見町の今後の財政見込みは、人口の減少とともにコロナ渦による税収の減と、公共施設の長寿命化に対応するため、多くの予算が必要となります。そのためには、町の独自の財源確保として、富士見町出身の都会で成功されている企業の経営者に、企業向けふるさと納税をお願いすることにより、財源確保の手段となると考えています。